

中国西南部における父子連名制と家族組織

——貴州省苗族の二村落の事例を中心として——

上野和男

-
- | | |
|----------------|------------|
| 1 問題 | 4 漢名と輩行制原理 |
| 2 家族サイクルと家族の構造 | 5 結論 |
| 3 苗名と父子連名制 | |
-

論文要旨

個人の名前とその命名システムは社会構造と深く関連していると考えられる。この報告は個人名と社会構造との関連の研究の一環として、中国西南部の苗族の命名システムと社会構造、とくに家族や親族組織との関連を明らかにしようとする調査報告である。苗族は中国西南部から東南アジア北部に居住する民族集団であるが、この報告では、1987年と1988年の2回にわたって調査を試みた中国貴州省の苗族の二つの村落を中心に報告したい。

この地域の苗族は、苗名と漢名の二つの名前のシステムをもっている。苗名は父子連名制、漢名は輩行制という異なる原理にもとづく命名法であり、苗族にはふたつの命名原理が併存しているが、基本的には父子連名制が基本的な命名原理である。父子連名制は、父親の一字を継承して子供たちに命名する方法であり、名前をみればただちに父子関係と兄弟姉妹関係を確認できる命名法である。父子関係と兄弟姉妹関係というきわめて近い親族関係を名前によって明示する点に父子連名制の基本的意義がある。これに対して輩行制は大規模な単系親族組織のなかでの世代的な位置を明示することに意義があり、より大規模な単系親族組織を基盤とする命名システムである。

苗族の家族は一子継承と均分財産相続を基礎とする「直系型家族」である。しかしながら、家族は財産所有単位を形成せず、養子制度も未発達であって、家族の持続性への期待は弱い。また姓で示される父系親族組織も一部の祖先祭祀を除いてとくに機能をもたない。こうした社会構造にあって、苗族社会でもっとも重要な関係は父子関係を機軸とする父系小リネージである。父子連名制もまた父子関係を強調する命名法であり、したがって、苗族社会において社会構造と直接関連して重要性をもつ命名法は、父子連名制である。